

客員教員の退任に当たって

客員教授 土田 博

契約期間である5年間で何とか無事に勤め上げられそうで3月31日に退職となります。これもひとえに所長先生をはじめ、事務長を筆頭にチームワークのとれた職員の皆様の人方ならないサポートのおかげと感謝申し上げます。

客員教員の最初の1年はコロナ禍ということもあり、学習センターでの活動も出来ない状況でした。令和3(2021)年を迎え、コロナも一段落し学習センターの利用も可能となり、「税法サークル」の活動を開始いたしました。決して私自身税法が専門というわけではなかったのですが、サークル員が比較的人生経験豊富な方が多かったこともあり、相続税を中心に学習を行うことといたしました。その後確定申告の時期には所得税、贈与税をまた消費税や年金、介護保険料などあまり大学では学習しませんが、社会人として必要な知識を皆で学びあったところでした。

また、「税法」の枠を超え、社会人としての教養を広げる見地より、「税法サークル学外研修会」を每学期開催し、宮崎地方裁判所における裁判員裁判の傍聴、細島税関の税関業務見学（のちに見学の様子が税関ホームページ掲載）、(株)第一糖業さんの工場見学、あくがれ焼酎の製造現場見学、牧水記念館および牧水生家見学、夕刊デイリー社の新聞製作現場見学（のちに見学の様子が新聞に掲載）、公証人役場公証人による講演など、私たちの身近に存在し実践されている行政や産業の活動について、それに携わっている当事者の説明を聞きながら目の当たりにしてきました。これらの活動は税法サークル員のみならず、他サークル学生の協力・参加を得て開催することが出来、大学らしい教養性に富んだ活動が出来たと思っています。また毎年10月に開催される宮崎学習センター学園祭においては、「租税教室」を開催し、税に対するお話やクイズなど日頃の学習成果を



(幸福神社初詣)

いかに発揮してくれました。大勢の子供達や保護者が参加していただきサークル員の発表を聞いてくれました。いずれの活動においてもサークル員がその企画、準備、運営等に尽力し、学校サークル活動の目的



(学園祭)

放送大学の学習は、受験生の様な集中的、非日常的な学習スタイルとは異なり、日常生活の中での学びです。毎日毎日の普通の生活の中に学びがあり、学びが日常生活の一部となるそんな学びが放送大学の学びであると私は思っています。そんな学びを皆さんには是非生涯続けていただきたいと思いますし、私自身も続けたいと思っております。

私自身は客員教員として2度目の退職です。都合16年ほどの在職になろうかと思いますが、皆さんの中にはもっともっと長い年数在学している方も少なからずいらっしゃいます。是非、生涯学生でいてください。そんな気にしてくれるのが放送大学です。

放送大学宮崎学習センターの益々のご発展、在学生の皆さんのご健勝を心より祈念申し上げます。5年間大変お世話になりました。ありがとうございました。